

# 平成22年3月12日 特許登録第4473721 取得

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-180988

(P2006-180988A)

(43) 公開日 平成18年7月13日 (2006.7.13)

(5) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 4 6 B 15/00 (2006.01)	A 4 6 B 15/00 Z	3 B 2 0 2
A 4 6 B 7/08 (2006.01)	A 4 6 B 7/08	3 C 0 6 3
A 4 6 B 7/10 (2006.01)	A 4 6 B 7/10	
A 4 6 D 1/00 (2006.01)	A 4 6 B 7/10 Z	
B 2 4 D 13/10 (2006.01)	A 4 6 D 1/00 I O I	

審査請求 未請求 請求項の数 14 O L (全 11 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2004-375728 (P2004-375728)  
 (22) 出願日 平成16年12月27日 (2004.12.27)

(71) 出願人 398029234  
 新崎 優一郎

(74) 代理人 100082669  
 弁理士 福田 賢三  
 (74) 代理人 100095337  
 弁理士 福田 伸一  
 (74) 代理人 100061642  
 弁理士 福田 武通  
 (72) 発明者 新崎 優一郎

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ブラシ毛とそのブラシ毛からなるブラシ

(57) 【要約】

【課題】 食品製造工程において、ブラシからブラシ毛が脱落して食品の中へ紛れ込んでしまっても、製造された食品の安全性が損なわれることなく、ブラシ毛の脱落に伴う食品の回収や焼却が不要となるようなブラシ毛とそのブラシ毛からなるブラシを提供する。

【解決手段】 食品製造工程に使用されるブラシ毛は、胃溶性高分子、腸溶性高分子、人体内の胃や腸で消化されて溶ける動物の骨や植物の中のいずれかの少なくとも1つの素材で形成されているように構成した。

【選択図】 図2

